

米国シリコンバレーにおける
コーポレートベンチャーキャピタル新会社の設立について

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、このたび米国に、有望なスタートアップ企業の探索、戦略的出資および協業推進を行う 100%子会社を設立いたします。

新会社「Diamond Edge Ventures, Inc.（日本語表記：ダイヤモンド・エッジ・ベンチャーズ、以下「新社」）」は、シリコンバレーに拠点を置き、全世界のスタートアップ企業やベンチャーコミュニティと連携します。新社の社長には、シリコンバレーに 30 年関わり、長年にわたるコーポレートベンチャーキャピタル(CVC)の経験や自らベンチャー企業を立ち上げてきた起業家としての顔を持つパトリック・スエル（Patrick Suel）氏を起用します。

新社は、本社先端技術・事業開発室のベンチャーグループと密に連携します。先端技術・事業開発室は、2017年4月に設立され、チーフ・イノベーション・オフィサー(CIO)のラリー・マイクスナー(Larry Meixner)のもと、現在の当社ビジネスの視野を超えた将来の新たな事業機会を創出するための活動を行っています。今後、米国と日本のチーム間で緊密な連携を取ることで、新社における迅速な意思決定および当社グループの将来事業戦略に合致した運営を可能とします。また、田辺三菱製薬株式会社の CVC 子会社である MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント(MP Healthcare Venture Management, Inc.、所在地：米国マサチューセッツ州、社長：ジェフリー・ムーア)とスタートアップ企業との提携に関する情報や専門知識を共有し、連携していきます。

CIO ラリー・マイクスナー：「国際的なベンチャー企業との連携という戦略目標を達成するためには、長年の経験とネットワークを有する、ローカルに拠点を持つリーダーとそのチームを設置し、彼らに新たな機会に迅速に対応できる権限を与えることが必要です。パトリック・スエル氏を米国子会社の社長として迎えることは、当社および当社が連携するスタートアップ企業双方にとって、よりよい成果をもたらすことを確信しています。」

新社は、当社の現在のビジネスに革新的な影響を与え、あるいは当社グループに新たな成長機会をもたらす技術やビジネスモデルを保有するスタートアップ企業との提携を図っていきます。ロボティクス、人工知能 (AI)、仮想/拡張現実 (VR/AR)などを始めとして、既存の技術領域にとどまらず、幅広く当社グループおよび事業会社の成長を促進するため、新たなアイデアや考え方を導入します。

【新社の概要】

会社名：Diamond Edge Ventures, Inc.

所在地：米国カリフォルニア州

代表者：パトリック・スエル (Patrick Suel)

設立日：2018年7月1日 (予定)

【Patrick Suel 氏の略歴】

(学歴)

1988年 Master in Advanced Computer Sciences, Institut International de Robotique et d'Intelligence Artificielle de Marseille (U of Marseille II), France

1986年 Master in Physics, Ecole Nationale Supérieure de Physique de Marseille (U of Marseille III), France

(職歴)

2006年6月～2018年3月 Panasonic Ventures (Senior Venture Partner)

2005年12月～2006年5月 IntegraNova, San Francisco, CA (General Manager)

2004年11月～2005年11月 Acutend, Portola Valley, CA (President & CEO)

2003年11月～2010年4月 Genentex, Honolulu, HI (President)

2001年9月～2003年10月 SK Global Accelerator, Palo Alto, CA (Venture Partner)

以上

お問い合わせ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室
電話 03-6748-7140